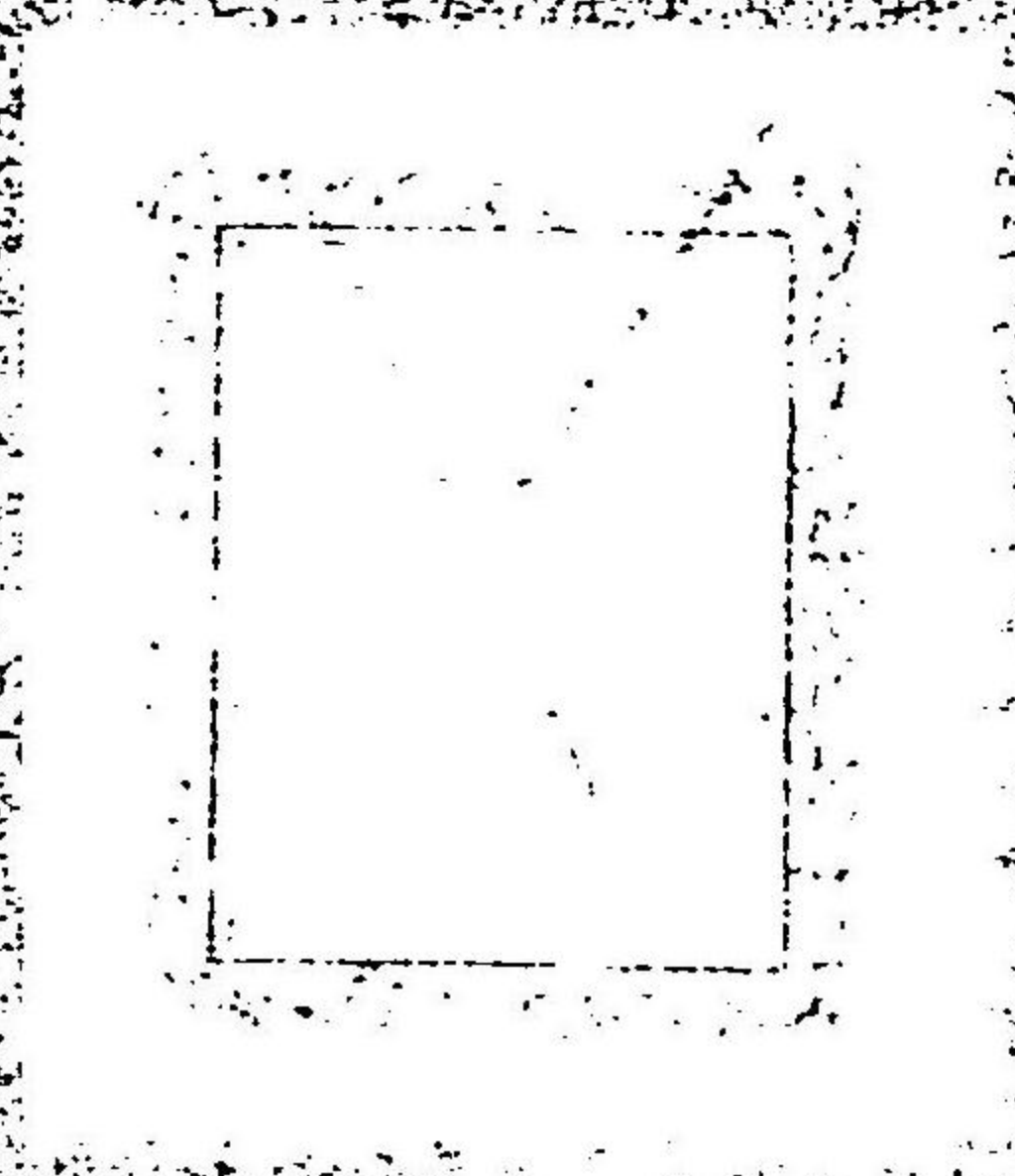
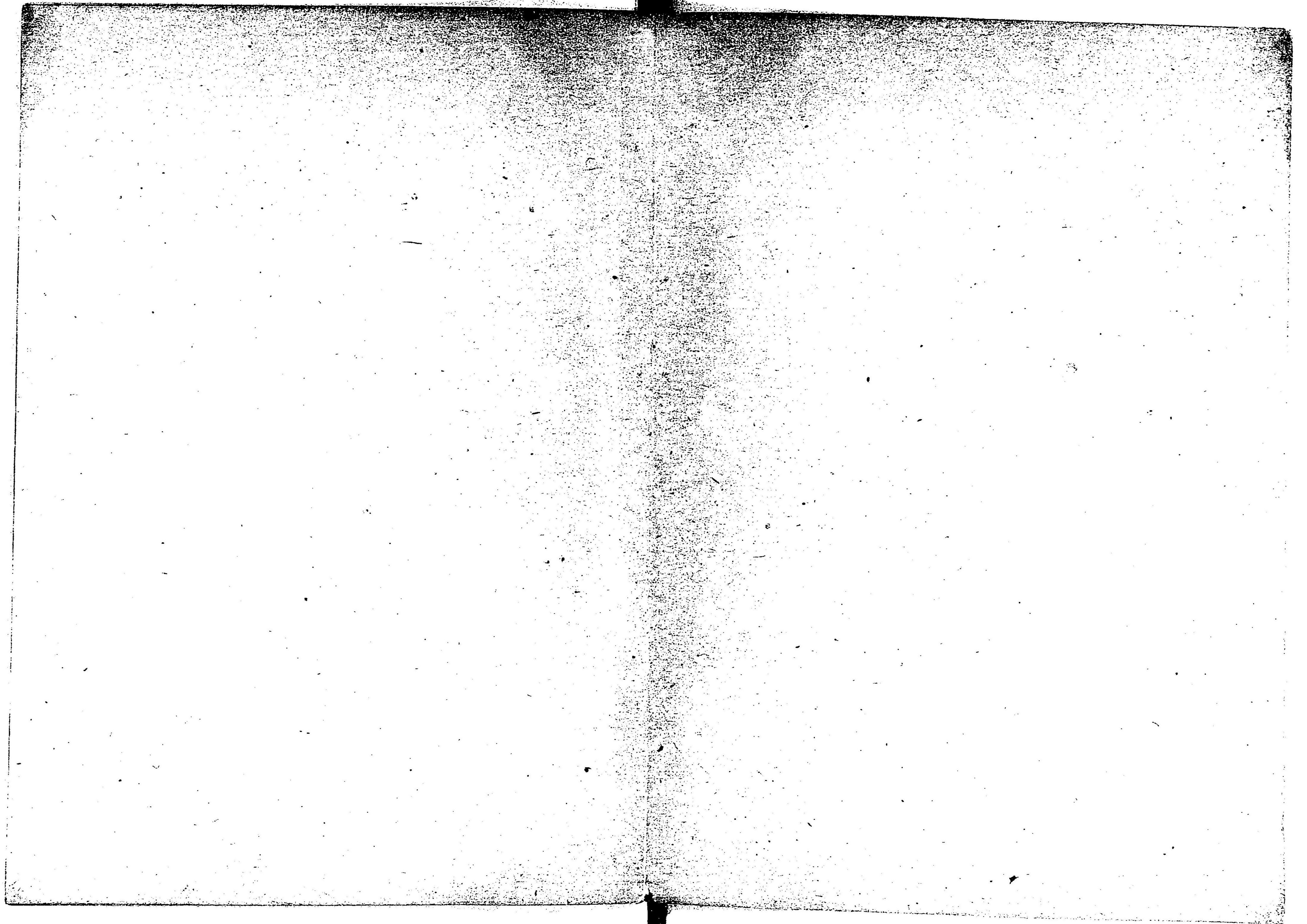


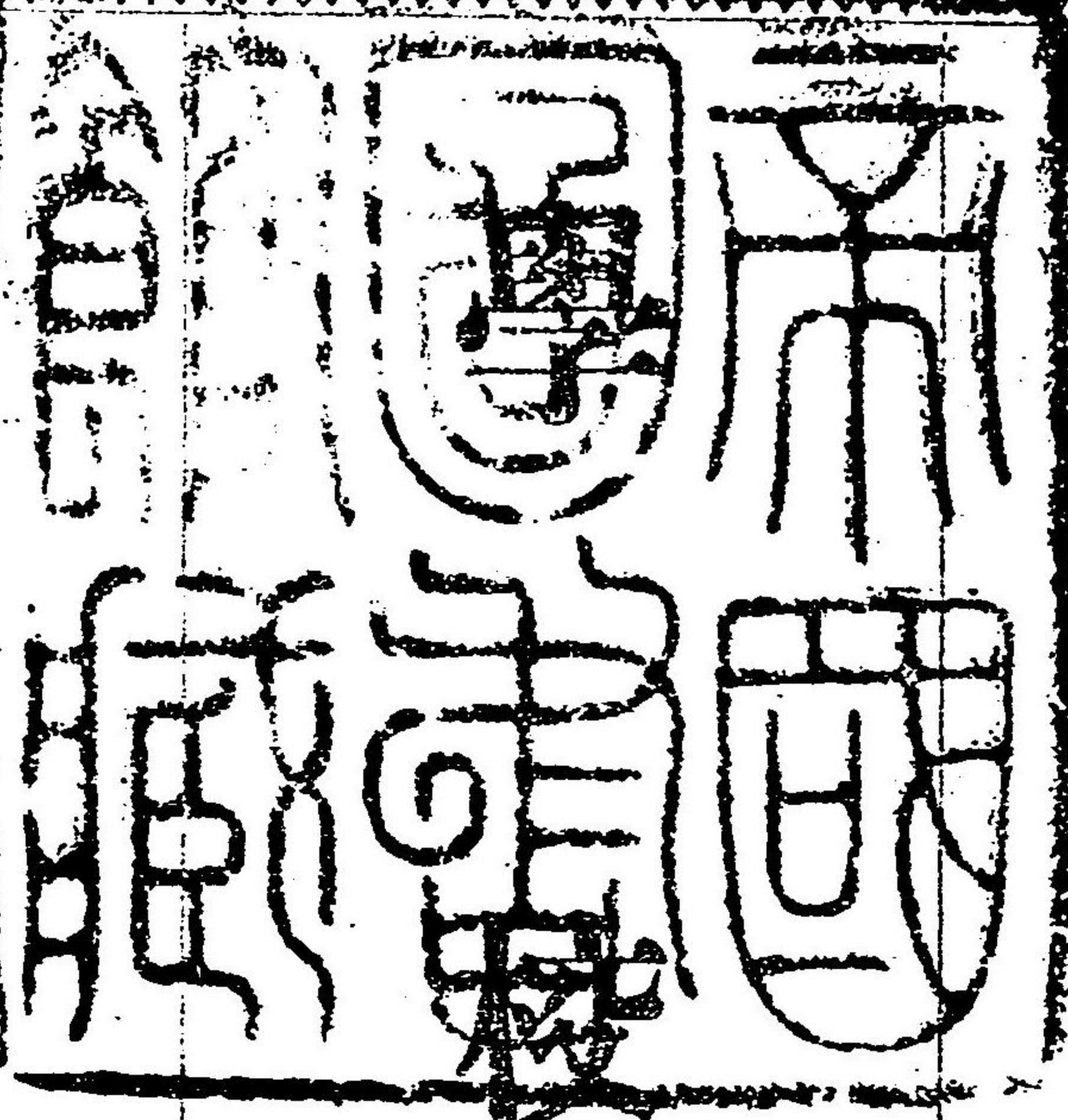
國
學
校
叢

71
801





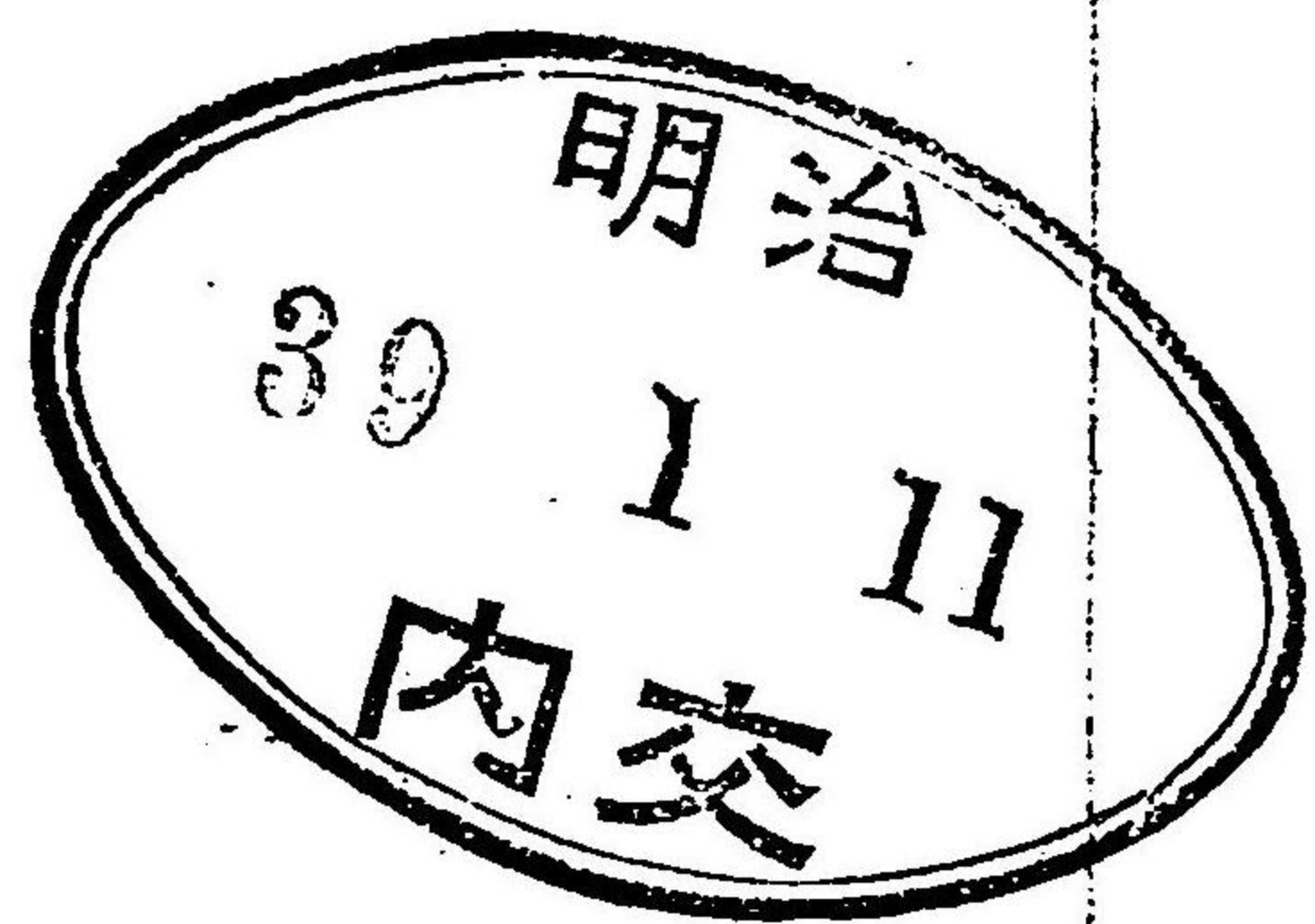
農學士 針塚長太郎 著



東京

國民教育社發行

園



持71
A03

緒言

本編は針塚本省視學官をして歐米諸國に行はるる學校園の實況に基き我國の事情を斟酌し以て地方教育當局者の參考に資せんか爲調査せしめたるものに係る我國に於ける學校園の施設は尙創始に屬し經驗の徵すへきもの甚た尠し故に本編載する所或は實際に適切ならざるもの

學 校 園

目 次

第一章	學校園の目的	一
第二章	學校園施設の方法	二五
第一節	園地の面積	二五
第二節	都會と田舎との差	二八
第三節	園地分配法	三九
第四節	區劃の形狀	四五
第五節	栽培すべき植物の種類	五四

第六節 園地の選定……………七一

第七節 器具及學校園手帳……………七三

第八節 生産物の處分……………七六

第三章 學校園施行上の注意……………八〇

第四章 海外に於ける學校園
施設の情況……………八八



第一章

學校園の目的

農學士 針塚長太郎著

活用的教育を必要とするの聲近時漸く盛なるに至り
 教育に對する要求愈益大且つ多きを致せり曰く「教育は
 活動しつゝある社會と密接の關係をとりて相呼應して
 社會有用の人物を養成せざるへからず曰く「美的觀念の
 養成に力め品性を高尚にし趣味と希望とに富む國民を

養成せざるへからす曰く「勤勉忠實にして公利公益を重んじ雄大の氣宇を備へ身體飽迄強健なる國民を養成せざるへからすと、翻て現時の教育制度を見るに規程の示すところ訓令の説明するところ學科課程の配置等悉く如上の要求を充たさんとする意思の存するを見ざるなし然かも今日の教育界に對し此の如き諸種の要求の現るるは蓋し今日の教育が遺憾ながら此等要求を充たし得ざる欠點の存すればなり此の欠點を補はんとして教育諸大家は種々の研究を遂げ其の結果或は手工教授となりて顯はれ或は自然科教授(Nature study)となりて表は

るるに至れり手工科教授か目と手との連絡を密接ならしめ考按力及精緻の思想を養ひ思考を精確ならしめ勤勉の美習を得しむる等に關して効益尠なからざること、は世已に定論あり自然科教授に關しては世人言ふところ未だ多からざるを以て聊か説明を加ふへし山川河海禽獸草木雷電風雨霜露乾濕等の自然物若くは自然現象の自然に依りて彼の如く自然なる状態並に複雑微妙なる相互の關係を授くるを自然科教授と云ふ吾人は實に自然界に生存し吾人自ら又自然界の一要素なり自己の研究自己の修養は乃ち自然界の研究に依りて得らるへ

し眞美は自然美なり高潔の趣味は自然の接觸に依りて得らるべく心身の圓滿なる健康状態は自然に近づくに従つて増し遠さかるに従つて減す天地一度冬の支配を脱して野草萌え山河笑ひ暄暖日に加はるの時河畔の楊柳風を迎へて緑更に濃に胡蝶は黄金花に舞ひ鳥は若葉に歌ひ鬢鬣たる紫雲英は錦繡を敷きて滿地の春を報するのところ誰か眞美を知覺し喜悅を以て充たされ詩的情緒に活躍たらざるものあらん既にして萬頃の緑波を漲らす麥隴の夏を送りて稻田穰々の秋を迎へ春の美夏の盛秋の豊なる四季の變化の微妙多趣味なるを悟り離

罌粟の艶麗なる菊花の貞淑なる緑陰の閑雅なる山海の雄大なる悉く是れ吾人周圍を圍繞する感化物にして吾等に對する永久の教師たるなり風土は人を化育す自然科教授の教育上價值大なることや知るべし而して實に學校園は自然科(Nature study)の一部にして學校教育に自然(Nature)を連結し又公德心を養成する等の點に於て社會を連結し而して學校教育に一段の活氣を附與するものなり之を左に列記せん

一、教室内に於ける博物の教授に最も善き直觀教授の材料を與ふること

- 一、博物教授の實地適用を行ふこと
- 一、自然に接觸すること
- 一、美的觀念を養成すること
- 一、品性の陶冶に尠なからざる効果を與ふること
- 一、考按の力を養ひ觀察力を助長すること
- 一、兒童の心情と肢體とを活動せしめ心身の圓滿なる發達を遂げしむること
- 一、勤勉忠實の風習を發達せしむること
- 一、學校生活と社會との接觸を保つ上に於て最も適切なること

一、學校を修飾し快感を與ふること等

單に教室内に於ける教授のみにては博物は之を學ぶ兒童をして將來何の爲めに効用あるものなるかを疑はしむる場合尠なからざるが如し此の疑の兒童の腦裏を離れざる間は教授の効果は擧ぐることを得ず然るに學校園に於て之か應用並に其の効能の基礎的知識を直觀的に了得するときには爾來兒童は該科に對して大なる興味を有するに至るべし極めて普通なる害虫益虫の思想すら單に抽象的机上の講義のみにては之を授與すること頗る難し然るに自ら丹精を凝して培養したる蔬菜か

蚜虫の害を受くるや如何にして之を驅除せんかに苦慮せる時一種のテントームシの幼虫發生して數日にして之を食ひ盡し若くは稻の螟虫が一種のコヌカバチの寄生によりて倒され果樹の木蠹虫の幼虫を啄木鳥か刺食する等の状況を實地に視察するときは常に害虫益虫の觀念を正確にするのみならず此等虫類の發生状態にも注意し進んで害虫を驅除し益虫益鳥を保護せんとの志望を惹起し聽て此の志望の實現せらるるに至るべし

博物の教授には實地證明を離るべからず證明的實驗或は實物視察によりて始めて其の觀念を正確ならしむ

ることを得べしデューイーは曰く「學校に於て知識を授くる爲に設けられたる目的の學科は田畑庭園に動植物を牧養栽培し實地に之を會得したる者か吾人に與ふる知識經驗の一事たも教ふる事能はざるなり」と若し博物の教授をして教室内に限らしめ教授事項の筆記に止まらしめんか此の最も興味に富む學科も甚だ沒趣味に終るを免れざるなり

兒童は其の性質として幼植物を最も愛するものなり通學或は散歩の際果樹草花類の實生を發見するときは時間と勞力とを忘れて之を已か家庭に移植し熱心に親

切に之が保護培養に力むるの事實は一般に認むるところなり兒童は又花を愛することが兒童の一般の通性なりと物を愛育し花を愛することが兒童の一般の通性なりとせば僅の指導と刺撃とを與ふれば益此の方面に向つて興味を深からしめ進んで自ら種々の考按を立て地區を設定し種類を選び勞力を厭はず愛護培養に努むるに至るへし此の間自ら自然物に密接し自然の美を樂み高潔なる情操を養ひ勤勉忠實の習慣を養ふに至るへし極言すれば兒童か花卉を培養し樹木を育成せんとの希望を以て之れに従事するに至らんか兒童性格の確固たる基

礎は爰に建設せられたるものと謂ふへし

學校園の取扱ふところのものは死物にあらずして實に生活力を有するものなることを忘るへからず生活力を有するものは日一日に生長發育を示し親切なる手當と勞力に對する効果を明に實現するものなり萎凋枯渴に瀕せしむるも全美の花果を結はしむるも一に保護育成の任に當る者の用意如何に存す此の事は自ら兒童を促して培養に手を盡さしむるに至る。貪眠の兒童も早起となり怠惰の兒童も勤勉なるに至るへし多數の兒童か己の圃場中に愉快に活動する有様を傍より眺むるとき

は恰も花果蔬菜を相手に遊戯を爲し談話を交換しつゝあるか如くなるへし此の間に今日社會が要求するところの活教育は行はるゝものなり此の如く植物を栽培し親切に取扱ひ自ら勤勞に服したる兒童は市場の商品を見ても之が價值と生産に費したる勞力とを直に想到すべく一粒の飯一把の菜と雖も等閑視せざるに至るべく他人の勤勞に對しても深き同情を寄するは勿論他人の果菜を侵し公園の植物或は路傍の列樹を毀損するが如きことなきに至るべし比年ニューイングランドの都市並に都市附近に於ては兒童の破壞的亂行の爲めに園藝

事業をして殆んど絶望の域に瀕せしめたり警察力説教叱責等種々の手段を以てして尙且無効に終れり然るに或小學校に於て兒童に自ら果花を栽培せしめたるに事實の如きは完熟迄一顆をも毀損せず收穫後兒童は之を賣りて少數ながら圖書を購入して學校の書庫に寄附し爾來此の學校附近の兒童は全然亂行をせざるに至れりと採て以て参考となすに足るべし米國クラーク大學のホツヂ(Clifton Hodge)氏は家庭園に關して説をなせり参考の爲に左に之を掲げん

園は兒童教育の生命の一部たるのみならず自然界の

事物に對する趣味に活動せしめ活きたる觀察力をあ
らゆる方面に發揮せしむる最大中心なる心臓と稱す
べきものなり

兒童に一定の仕事と與へ耐忍して努めたる後其の作
業の眞價を認めしめ活動力を促進せしむるには果樹
花卉を培養せしめて其の報酬が善美の花果を以て飾
らるゝ光景を見しむるより良法あらず

此の方法を外にしては兒童に對して如何なる仕事
が生活と文明とに對して密接なる根本的關係を有する
ものぞ從來仕事の仕事 (Historic Occupation) は餘り特殊

に且器械的なりされば舊套にして活氣なきの憾あり
然るに自然科の仕事は活濯として興味に富み其の快
樂や生涯に亘りて失はざるものなり

然らば父母は如何なる方法を以て如何なる年齢の兒
童より園事に從事せしむべきかに就ては議論區々な
れども經驗家の有効と認むる年齢は滿三歳乃至四五
歳の時より小區の土地を與へて兒童の自ら經營に任
ずを適當なりと認む

斯くして兒童に其の望に依り若くは進んで器具(移植
鏝、草取り器、種子箱等)を與へ此等備付場所をも指定し

且器具の取扱法保存法をも教へ兒童と共に園藝目錄を調べて如何なる植物を植ゑんか此を採らんか彼を選ばんか如何なる考按を以てすべきかと兒童の希望心を促進し以て兒童の好みたる植物を兒童の考按に従つて培養せしめ父母は之に對して必要なる注意を與ふべし兒童が若し家事用の蔬菜花卉を收穫したるときは相當の代價を以て之を購求し一は兒童の園事に當ることを獎勵し一は貯蓄心を起さしむることに努むべし。年一年兒童の能力の發達に伴ひ漸次區劃の面積を増し此處には林檎彼處には葡萄、門の入口には

蔓花壇には花卉と言ふが如く次第に擴張し延て兒童教育の樞府たるホームの庭園整理の一部をも助けしむることに及ぶべし。かくするときは自然に兒童をして生物の育成並に生産的工作に對し愈々興味を深からしめ責任を感ぜしむるに至るべし。家庭の事情と必要とに應じ此等の仕事の分量方法等は適宜斟酌するを要す園の適當に經營せらるゝに於ては家庭に於て需要する過半の花卉蔬菜果實等を供給し得べく其の自ら作りたるものを味ふの愉快なること其の新鮮にして健康的なることとは市場の販賣

物を用ふると同日の論にあらず若し此等必要品の栽培を要せざれば裝飾用植物を以て之れに代ふべし百花爛熳綠樹鬱爽快の氣庭園に溢れ家庭をして穩然一種のパラダイス(樂園地)たらしむるに至るべし云々學校園の目的を達せんとせば單に學校に於てのみならず家庭に於ても父母の適當なる注意の下に之を行はしむるを要す特に母に向つて要求するところ大なり母たるもの、趣味の高下、嗜好の好悪は直に兒童に影響を及ぼすこと其の父に優れるものあり是れ兒童生活の大部分は母の手に掌握せらるればなり此の故に若し母た

るもの、趣味卑うして譬へば快豁たる原野鬱叢たる林下に兒童を伴ひて健全の樂を取ることよりも都府喧鬧の巷に汚濁の空氣を吸收しつゝ、祭日緣日の狂態雜踏を見るを選びて無上の快樂となすか如くんば兒童を導きて學校園所期の目的に誘致せんとするは頗る困難の事なり須らく家庭に於ても學校と相俟ち相依りて以て彼岸に到達することを期すべきなり然れども家庭園と學校園とは其の施設方法に關し兩者の間自ら幾分の差異なき能はず注意を要す

家庭に於て往々見るか如く兒童の學校より歸るや學

校の課業を非常なる勞苦として種々の方法を以て慰撫し一舉手一投足の仕事をも課せず全く自由に放任し遂に遊惰放逸の惡慣習を附するに至れること尠なからず特に富豪の家庭に於て然りとす兒童を誤まらしむること大なり實に今日の學校兒童が(中學校生徒等特に然り)在學中は學校の課業以外に仕事を有せず一般に父兄亦相當の仕事を課せざるは兒童の爲めに實に不幸と言はざるべからず勉學の時間は何時にても得らるべしとの觀念は兒童を驅りて常に不勉強に終らしむるものなり之れに反して相當の仕事をも有するときは時を惜むの觀

念を生し勉學の時間には孜々として力め成るべく效果の大ならんことを期するや疑なし而して仕事の單調ならざるときは兒童の腦力を過勞せしむるが如きことなし況や園事の如き一度之れに従ふときは殆ど時の移るを知らざるものなるに於てをや然りと雖も都鄙何れの小學校兒童にも往々見るが如く歸宅後過度の勞務に従事せしめられたる結果總ての仕事に嫌忌するに至らしむるが如きは固より不可なり是れ啻に教授の旨趣に反するのみならず身軀の發育を害するを以て特に注意を要すべきことたり

兒童教育の大家フレイベル氏は曰ふ、兒童に幼時より忠實に働かしむる習慣を附與するは極めて必要にして此の旨趣によりて教化せられたる兒童の勤勉と勵精とは將來家庭並に國家に對してあらゆる善徳の因をなすものなり。吾は實に彼の不注意なる父母が兒童を懶惰に放任したる結果遂に精神的に死せしむるの事實を見て近き殷鑑となさざるべからず併しながら之れが實行は頗る難事とするところ先づ自から省みよ兒童と吾との交際、兒童日常の生活及周圍の事情に就て吾人自からが已に無學なり吾人の思慮が己に死的なり故に周圍の事

物亦皆吾に對して死的なり吾の凡べての知識を以てして兒童に對しては殆んど空虚なり兒童に關して吾人の言ふところのもの殆んど空虚にして要領を得ざるなり此の故に兒童教育に志すものは先づ吾自身の思慮を活かし兒童を活かし依て以て吾人の言を意味あるものたらしめ周圍の事物を活かさしめざるべからず斯の如くして始めて吾人の兒童教育上の希望を達することを得べしと世の父母たるもの大に這般の問題に就き研究を要す

學校園は校舍校庭を適當に修飾し美觀を添へ職員生

徒延ては公衆に快感を與ふるに必要缺くべからざるものなり墻垣修まらず雜草の繁茂に委し戸を排して教室に入る唯見る机と案とのみ掛圖なく標本なく何等修飾を見ざる學校尠ならず如此乾燥無味なる教室に授業を受けつゝある生徒に對しては放課の號鐘獨り生氣を與ふるのみなり誠に遺憾のことゝなす學校園は實に此の缺陷を補ひて餘りあるものにして趣味と快樂とに活動せしむることを得るものなり

獨逸の小學校が教室の掛圖 (Schulwandkarten) 若くは修飾圖 (Künstlerischer wandschmuck) 等に意を用ひ教室内の修

飾に努むるもの詢に謂あるなり

第三章 學校園施設の方法

第一節 園地の面積

學校園の面積は其の學校の規模の大小によりて異なるべきは勿論なり奥太利の村落に於ける學校園の面積は園地のみならば三百坪のもの多く教師用蔬菜園を兼ねるものは四百坪位一部を運動場に充つるものは五百坪位を以て普通とせり之を平均して四百坪許を一般とするが如し奥太利の小學校の規模を最近の統計に徴する

に一校平均の生徒數は百七十五人にして一校の學級數不明なるも蓋し三學級以下なるべしプロシアに於ては一校の生徒數は平均百五十六人一校平均の學級數二、八學級なり顧みて吾日本の現状を見るに一校平均(分教場若くは分校も一校として計算す)百五十六人にして一校平均學級は三學級なり約獨逸の學校と此の點に於ては伯仲の間にあり然れば吾國に於ても特別の事情なしとせば學校園の面積は約一反步前后にして不都合なかるべきか加奈太のフンタリヲ洲に於ては一九〇三年に學校園補助獎勵規程を發布し學校園の面積は一エークル

(凡四反十八步)を下るべからずと明記せり此の如く加奈太に於ては面積を廣く取らしむるは蓋し二つの特別の理由あるが如し一は人烟稀少にして到るところ適當の地面を廣く利用し得る便利あることと一は加奈太は殆んど純然たる農業國にして普通教育を適切に應用的に課するには是非農業園藝に關する一般の基礎的思想を與ふる必要あることとによるなるべし従て加奈太の學校園は我國村落に於ける農業科課設小學校の學校園施設の参考となすに足るべし

今日本に於て幾何の面積を以て適當とするかと云ふ

に田舎と都會とに依りて異ならざるべからず田舎は容易に所要の地を得べく都會は之を得ること困難なり園の面積は園の設計栽培すべき植物の種類等によりて決定せらるべし抑學校園に植栽すべき植物の種類より云はゞ農業園藝の基礎的知識を與ふるものと主として美的觀念の養成に資するものとの二者あるべし

第二節 都會と田舎との差

學校園の目的は已に説明するところに依りて明なり、従つて其の課すべき仕事に至りても自ら此の目的に適

合せざるべからざるは勿論なりと雖も田舎と都會とに依りて園の施設方法の幾分異なるべきは免れざるべく従つて前二者中何れかに多少傾くべきは認めざるを得ず左に聊か之が研究に關する二三の説を參考として掲記せん

一、田舎の學校に於ては農業を課すると課せざるとに依りて植物の種類を斟酌せざるべからず農業科を課する學校に於ては教授材料を供給するに必要な作物は多くは栽培せらるべきを以て此の場合に於ては學校園の本分としては花卉花木等を栽植すべく農業科

を課せざる場合には日常必需の植物を併せ栽培すべしと云ふ説

一、田舎は周圍の事情凡べて農業園藝の基礎的知識を得しむるに好機會を與ふるを以て田舎學校園としては主として花卉、花木等美的方面の教育に資する植物を栽培するを適當とする説

一、周圍の事情に慣るゝときは漫然として經過し少しも注意を拂はざるものなるを以て田舎に於ては矢張農作物を培養し花卉栽培等も俱に行はざるべからずと云ふ説

一、都會の生業は農業と直接の關係なし故に都會の學校園に於ては専ら花卉並に庭園樹木を取扱はしめて學校園の目的を達するを圖るべしと云ふ説

一、都會は自然に接觸する機會を得難きを以て學校園の施設に依りて此の目的を達することは大に希望するところなれども此の如き目的に適合する學校園は廣き面積を要するを以て畢竟空望に過ぎず故に此の希望は公園等に譲り學校園にては主として日常の必需の蔬菜、穀菽等を栽培して此の方面より導きて目的を達するを可なりとする説

各説一理なきにあらずと雖學校園の目的は自ら定まれるあり故に如何なる動植物を主として取扱ふべきか如何なる設計を立つべきか等は宜しく土地の情況、兒童若くは生徒の品性、習慣、嗜好等を考査して適當の方法を採るべし、さすれば面積の如きは自然之れに依りて定まるべし要するに

一、單調に失せざること

一、純然たる農場の如くならざること

一、簡單なる見本園の如くならざること

等に關し注意を要す

花卉、蔬菜等を校庭の餘地に栽培するには、少しく高き土を盛りて花壇若くは、苗床となし之れに各種の草花、蔬菜を其の配列に注意して栽培すべし、適當に考案を凝らして美術的に花の色合、濃淡等を配合して栽培する時は、其の開花の際には一種微妙の活美術畫を見ることを得べし、而して毎日毎月に漸次種類の異なる花を見、蔬菜類の豐滿なる生長状態を觀察することを得べし、兒童は此の觀に接するときは健全なる樂を感じ、昇校時の自然早くなることは一般に經驗せしところなり

校地内に餘地なき場合は、勿論假令園地を有する際に

も窓園若くは懸垂園の方法を併用するを可とす窓園とは窓の外若くは内に日光の照射し得るを度として植木鉢を排列するに足る幅を有する臺を設くるか若くは箱庭的の裝置をなすを可とすべし臺の面には鉢に與へたる漏水を吸収する爲めに石炭灰の粗なるもの若くは木炭末を敷く時は清潔に保つを得べし或は臺を設けず植木鉢の開きたる上端を以て極めて簡單に懸け並ぶるも可なり此等は便宜其の行ひ易きものを選ぶを可とす北方の窓には日光を多く要せざる植物を置くべし羊齒類は最も可なるべし單に羊齒類にては美觀に欠くる

ところあるを以て艶麗なる草花を處々に配置するを要す

米國の普通教育家(Propular Educator)と稱する一雜誌に曰く

葡萄の空籠を利用して肥沃の土を盛り之に生徒各自に持來らしめたる蔦菜(Nasturtium)を植ゑ光線がよく照射する上部の大なる窓に懸け適度に水を注ぐべし斯くするときには記者の數年の實驗に徴するに各籠は忽に一種の花團と變じ深黄色は中間の陰翳によりて橙黄色に橙黄色は更に栗色に變じ濃淡相交り色序艶

に照映頗る美なるものあり若し夫れ黄褐、赤の三色を混交すれば到底畫家の考按の企及し得ざる美觀を呈するならん

花の模様は毎週に改まり兒童の心情は器を以て充たされ陰鬱不快の日と雖も之に對すれば自から晴天爽氣の中に遊ぶの思あらしむ此の快感に接せし兒童は自己の家庭に於ても又同様にあらんことを欲し多數は葡萄籠を利用したる蔭菜を有するに至れり

兒童及該植物の育成法を學び其の用途と習性とを會得するや、晨には早く起きて先づ之を眺むる等兒童の

好侶伴としての價値は蓋し計るべからざるものあり云々

要するに都會の學校園は其の面積幾何と限ること能はず運動場の餘地、墻垣の周圍教室並に生徒の娛樂室等を巧に利用するの外なし強て廣き面積を之が爲めに求めんとする時は施設上種々の困難を生ずるに至るべし田舎學校園は歐米に於けるが如く約一反歩内外とすれば施行上不足なからん然れども土地の事情と經濟上の都合に依りては百坪若くは五十坪を以てするも尙甘んせざるを得ざる所あるへく或は僅に校庭の墻に添ひ

たる周圍を利用するに止まることもあるへし米國の一教育家(トルロ市ノ、エッチ、ダヴリユー、スミス博士)は曰く「學校園の施設は必ずしも多額の經費を要せず僅少の費用と簡易の方法とを以て到るところ實行し得へし土地の購求と廣大なる園地とは敢て必要條件にあらず一エークル(約四反十八步)の八分の一(百五十坪)若くは十分の一(百二十坪)を以てしても足れりとす此の如き地積は學校の近傍の住民より求むることを得べく夏期休業中は其の管理手入を地主に托し其の報酬として生産物の幾分を與ふるときは相互満足の協定の下に施行し得べく此の

如き組織の學校園は一年僅に三四弗の經費を以て行ふことを得べし」と亦以て参考となすべし

第三節 園地分配法

園地の分配法は生徒に學校園の仕事を課する方法を決定するものにして大に重きを置かざるべからず之に關して左の地區を設くることを要す

- (一) 各生徒に受持たしむる地區
- (二) 生徒の組合に受持たしむる地區
- (三) 共同作業に供する地區

(一) 自己専用の一定の地區を受持ち之が整地より播種、耕耘、施肥及病蟲害の防除等に至るまで自ら行ふときは其の作物に對する愛護心は頗る深くして凡べての點に付て懇篤親切なるべく自然物に對する愛護の觀念は大に之れに依りて助長せらるべし日々精密なる觀察を自己の栽培せる植物の上に注ぐを以て發芽に要せし時日、發生の模様、開花結實の時期、當該植物に對する害虫、益虫病菌等に關する知識、花辨、雌雄蕊の状態等不知不識の間に了得し其の觀察力を養ふこと頗る大なるべし而して自己の所有、自己の責任なる觀念を腦

裏に印し他人の權利を尊重し己の責任を重んずるに至るや必せり己の勞力に對する效果の有無及其の程度を明に知らしむることを得べく臆て豐滿美麗なる花卉蔬菜か小園に充ち播種より茲に至る迄の少年の赤心より出でたる懇篤周到なる培養の力勞に感謝するが如き現象に接せる時兒童の心情は如何ばかり満足と喜悅とに溢るるかを思ふべし
此の故に假令其の面積は極めて狹小にして一坪若くは二坪たりとも或は止を得ざる場合には一基の植木鉢たりとも生徒各箇に受持たしむることを要す

(二) 兒童を三人若くは五人或は進んで一學級を一組として之れに一定の區域を受持たしむるも一方法なり特に生徒數多き規模の大なる學校に於ては此の方法を採ること必要にして且つ便利なるべし即ち其の受持地區に對しては某組の受持、某級の擔任と云ふことの關係は生徒箇人の受持の場合に於ける責任と同様なるべし唯各生徒の責任と勞力に對する效果不明なるが故に中には怠慢無責任者を生ずる患あり然れども指導教師の注意周到なる時は此の弊を減少することを得べし而して良き指導の下には此の方法に於て共

同責任、共同作業と云ふことに關する知識を得しめ社會に接近することを得しむる機會を與ふるの利益を忘るべからず

(三) 全校生徒を交互に同一の地區の作業を執らしむるとも共同作業の眞諦を知らしむる爲に必要なり社會生活上相互扶擠の意味を諒得せしむることを得べし譬へば甲組の兒童が極めて眞面目に圃場の整理をなすも乙組の兒童播種施肥等の仕事を粗雑にする時は何等效果なきに終るべく又果樹園の害虫驅除をなすに當つても一部の兒童は最も叮嚀に園の一部の驅除

を行ひたるに他の一部の兒童が其の殘除の驅餘を甚だ不親切に行ひたるときは、害虫の忽ち其の部分より蔓延し日ならずして再び全園を侵すに至るべし此の間の關係は恰も一船の同乗者の如く乗組員皆心を一にして操船の事に従はざれば目的地點に到着せざると一般なり社會のこと亦復此の如し共同地區の教ふるところは此の目的をも達することを得べし又作物の種類によりては共同的擔任を便とするものあり果樹園の仕事の如きは即ち然かり

第四節 區劃の形狀

區劃の形狀並に方位に關しても一概に律し得されとも園地廣くして生徒に相當の地積を配當し得る場合は各區劃の形狀は長方形とし東西に長く南北に短くするを便とす而して作付の場合には作列は南北に立つべし斯くするときには日光畦間に透射し空氣の流通宜しく且つ多種類の植物を植うることを得るの利あり而して例へば蔬菜を栽培する場合に第一區の東の第一列に甘藍を栽培したる時は第二區以下全躰に同列に甘藍を栽培

すべし即ち見通しに各區同列次に全植物を栽培する時は各區の作物の生育状態を比較するに便にして各擔任者に競争心を惹起さしめ自己の勤勞の度に對する報酬を比較的に判断するの利益あるべし

地形に従つて便利の處に花園若くは花壇、果樹園、風致園を設くべし或は風致園は特別の場所を以て充てず校庭の餘地に適宜適當の樹木を栽植し全躰の學校園の花弁、蔬菜、壇垣等の排列と相俟て自ら風致園をなすにても充分なり

果樹園は之を喬木果樹、矮生果樹の兩區に分つも或は

喬木果樹の周圍に適宜に矮生果樹を間植するも可なるべし喬木果樹とは桃、梨子、林檎、杏、西洋スモ、等の類を謂ひ矮生果樹とはフサスグリ、グロスベリー、ラスベリー、ユスラゴ等の灌木性果樹類を云ふ

兒童は植物の實生苗を發見するときは遠方より勞力と時間とを惜まず抜き來りて培養する性質を有す此の性質たる實に兒童をして自然に接觸せしむるに導くべき鎖鑰たるを以て成るべく助長せしむべし之が爲めに學級別に隨意栽植區を置くことは必要なるべし而して此の區に植ゑたる苗木等は發育の後兒童が家庭に持ち

歸ると將自己の擔任區域に移植すると隨意たるべし園内には冬間苗木若しくは株莖を保護すべき簡易の溫床を設くれば便利なり又園の一隅に種子器具並に簡單なる肥料置場を設くることを要す或は此等は校舎の一隅を以て充つるも不都合なかるべし株地狹隘に且附近に土地を得難き場合には前の如き主義に依りて墻垣の四周後庭並に教室の窓等を利用するの外なきこと已に先きに陳べたるが如し

英國ボスコンプ、ブリティッシュ學校の學校園の共同區に關し記せるものを(英國視學官テ、ジー、ルーバー氏の

報告に依る見るに、共同區に於てはアスバラガス(石才柏)、南瓜、シロケール(葉の卷縮セル甘藍の一種)等を栽培し又タフジャコーサウ、サルヒヤ、マヨラナ等の草花類も作り尙他區の補植の準備として高苜、洋芹、セルリ、韭、子持甘藍、甘藍等を栽培す又園の東側には林檎樹、梨樹、ブラム其他フサスグリ、グースベリ、等の灌木性果樹を栽植す而して餘地には或はトマト(蕃茄)、草莓の類を植ゑ美觀を添ふる爲に種々の草花、薔薇類を添植す

東北の隅には六呎に四呎位の框を設け早春栽植する苗を冬間貯藏する用に供す

兒童は此の共同區に於て薔薇の手入、果樹の取扱法、各種の嫁接法等を學ぶものとする

園地の四周には蕨線を繞らし柵となし柵内にネヅミモチの籬を作り少許の間隔を置きて白楊、楓、赤楊、榕(トナリコ)の類を植うと以て參考となすべし。園圖は末尾に添付す

園地の區劃は幾何學的に裁然たるべしと雖單調に失し無趣味に陥らざらしむる爲め樹栽地並に花卉栽植の箇所等風致の目的に供するものに對しては可成自然狀態に摸倣して考按を回らすを要す

クリットンホツヂ (Orlton Hodge) 氏は其の著「家庭及學校園」に於て風致園の三要義として曰く「樹木葛類が山野溪谷に生育する天然狀態に注意するときは風致園の組織植物の配置等に關する根本的原則を領得するに難からず

第一 日光及空氣に關する關係を適良ならしむる爲に處々に空地を存すること

第二 季節に従ひ其の變化を等ふする樹類を類別に従ひ集團的に栽植し以て四季の美觀を完ふすることを努め第一の主義を斟酌して列樹若くは集團植

樹の方法を以て學校附近の見苦しき風景を蔽遮し成るべく秀清の景色に對して開放すべく花卉は開放せる平地に設くるよりも後庭の葉枝鬱叢たる適當の邊に花壇として之を設くるを可とす

第三 樹木は可成的一直線に植ゑ付くることを避くべし是れ天然蕃殖法に背くのみならず窮屈にして單調に且つ沒趣味なればなり

植樹の方法に就ては學校附近に於て其の樹の最も良状態に植ゑ付けあるものを見て參考とすべし植付の距離に關しては小木は五十呎離すときは甚だ寂莫の觀あ

れども樹栽の時には吾は二十年三十年若くは百年の後の生長程度を考へざるべからず此の注意を怠るときは生長するに従ひ校舎を蔽ひ日光を遮り蔭鬱且濕潤ならしめ黴菌の繁殖を來すの虞あり中途にして切倒す必要を生ずべし云々

自然の景色を摸する造庭術に於ては我國は最も長所とするところなるを以て學校園の一部を以て時に風致園に兼ねしめんとする場合には適當の考按必ずや乏しからざるべし

能ふべくんば園の一部に池を設け之に魚類を放ち水

中動植物を養ひ又園中適當の所に巢函を据ゑて養蜂を行ひ其の習性並に勤勉の情態を観察せしめ進んで養虫養禽等を行はしむるが如き最も有効なりと信ず

第五節 栽培すべき植物の種類

學校園に栽培すべき植物の種類は大に攻究せざるべからず學校園には自から其の目的あるが故に濫りに生産物を多からしめ若くは多額の収益を得ることを目的とすべきにあらず收穫の多からんことを望みて學校園に蒞むときは經濟的には假令成功しても教育的には失

敗せざるを得ず何となれば經濟的を目的とするときは其の當時最も高價なる作物を栽培せざるを得ず而して此の如き作物は必ず一二種に限るべし其の單調無趣味なる必ずや生徒の倦厭を來たすを免れざればなり學校園に適する作物若くは植物は左の資格を備ふるを以て略適當となすべし

- 一、生長速かなること
- 一、性質強健なること
- 一、花卉ならば花葉共に豊富なるものなること
- 一、栽培上困難なる手数を要せざるものなること

一、著しく珍奇の種類に偏せざるものなること
一、果樹ならば果樹を代表するに足る普通の種類
なるべきこと

兒童の心情は常に活動し且つ頗る性急的のものなれば生長遅緩にして容易に花果を見ることを得ざる植物は倦怠を來たさしめ遂には放任主義に陥らしむる虞あり故に生長は速にして早く結果を見ることを得べき植物は概して兒童の心に副ふが如し栽培に熟達せざるを以て餘り上品にして過敏の植物は事實上栽培し得ざるなり故に成るべく強健にして花葉共に豊かなるものを

選ぶの必要あり彼の近時大に流行する所謂高山植物の如きは學校園の目的に向つては適せざるなり要は普通にして重要な植物、作物若くは心目を樂ましむるに足る植物を取扱はしめ一面此に關する常識をも養ふを以て満足せざるべからず而して學校園の目的は別に大に存するものあることは已に陳べたるが如し今左に植物若くは作物の主要なるものを擧げん

◎蔬菜類

根菜類

大根、胡蘿蔔、蕪菁、洋芹(パースニツプ)、卷丹、馬鈴薯、甘藷、午莠、葱頭、慈姑、蓮、甘露子、青芋、里芋、

葉莖菜類

香辛料類

鹹果類

薯蕷(ヤマイモ、ジネンジョー)、蕪菁、甘藍、等

甘藍、姫甘藍(子持甘藍)、花椰菜、木立花椰菜、山

東菜、白菜、體菜、黃芽菜、石刁柏(アスパラガス)、

茼蒿、塘蒿(オランダミツバ)、セルリー、萵苣、立

苣、苦苣、菠薐草、葱、土當歸、三葉芹、おかひじき、

小松菜(冬菜)、京菜、芥菜、欸冬、等

蕃茄(トマト)、甜瓜、胡瓜、豌豆、蠶豆、菜豆、茄、南

瓜、西瓜、越瓜、苦瓜、絲瓜、冬瓜、刀豆、鵲豆、豇豆、玉

蜀黍、苺、等

蕃椒、薑、旱芹、菜、防風、等

◎果樹類

林檎、梨、柑橘類、桃、櫻桃、杏、李、巴且杏、葡萄、柿、栗、無花果、すぐり(グリースベリー)、ふさすぐり(カーラント)、懸釣子、枇杷、いちご(ラズベリー)、ゆすら、等

◎草花及花樹

朝顔、百合、錦葵、鳳仙花、水蝶花、日向葵、花菖蒲、鶏頭、貝細工、美女撫子、ジキタリス、千日草、小町撫子(ハヘトリナデシコ)、美女櫻、萬壽菊、紅花サルヒヤ、石竹、ハルシヤ菊、金盞花、千鳥草、水仙、金鷄草、孔雀草、松葉牡丹、櫻草、福壽草、夏菊、矢車草、菊、牡丹、除虫菊、スミレ、ジャヤコーナデシコ(カーネー

シヨン、三色スミレ(バンシー)、エゾギク(翠菊)、ヘリアント
 ール(小向日葵)レセダ、美人草(レナンキュラス)、ロベリア、
 百日草、天竺牡丹、洋種アスター、フロックス、木立フロッ
 クス、金蓮花、カンナ、ツクバネ草、大花月見草、コスモス、ヒ
 ヤシンス、グロキシニア、アマリリス、カラジウム(葉ヲ賞
 ス)、グラジオラス(西洋花菖蒲)、アチモ子、チユリツブ、金魚
 草、小田卷、夕化粧、糸桔梗、虎尾、繡綜菊^{シモツク}、けまん、秋海棠、

備考 側線を添へたるは秋季に於て移植若くは播
 種して可なるものにして此手續後秋季直に開花
 するものと翌春開花するものとあり詳細の手續

は専門の書につきて調査を要す概して花物の播
 種床は幅三尺長適宜に區劃を取り一尺位深耕し
 て底に堆肥を敷き其上に充分腐熟したる塵芥若
 くは腐植土を約二寸厚さに散布し更に細土を一
 寸位敷きて平坦に均らし軽く沈壓して播種する
 なり播種の際種子微細なるものは極めて薄く細
 土を被ひ種子二三分大のものなるときは約三分
 厚さに被土を行ふべし播種したる床上には乾燥
 せる馬糞若くは細に刻みたる藁を薄く散布し置
 くを可とす之れ干燥若くは雨に洗ひ出さるゝこ

とを防ぐの効あり
 發芽後二三寸位に生長せしときは能く腐熟した
 る極めて稀薄の液肥を施すべし適度に生長した
 るときに移植するものとす

四季開花するもの、四季咲撫子、ジエレンナム、コリウス、
 ツクバネ草、四季咲翁菊、ランタナ、扶桑花等
 灌木花樹 萩、薇薔、躑躅、挾竹桃、美女柳、牡丹、蠟梅、ボケ、赤
 色ウツギ、トウダン、瑞香、紫陽花、エニシダ、ニハサクラ等
 喬木花樹 櫻、梅、桃、椿、茶梅、百日紅、花柘榴、合歡木、木犀、海
 棠、木蘭等

校内の空地若くは廣き運動場の餘地には牧草を植う
 ることも可なり之れによりて觀を添へ風塵を防ぐこと
 を得べし此の目的に適する牧草は左の種類なり

苜蓿類(クロバ)、レツドトップ、アルファルファ、チモシ
 ー、オルチャードグラス、ライグラス、ケンタッキープリ
 ユーグラス等就中白苜蓿、プリューグラスは最も可な
 るべし

又校地の許す場合には有毒植物の見本園を設くるこ
 とも可なるべし

校庭に植うるに適する樹種

松、杉、落葉松、檜、樺、公孫櫟、梧桐、白桐、赤櫟、白櫟、アカメカシ
 ハ、アカシヤ、ポプラ、神樹、ミヅキシヲジ、ニレ、カツラ、トチ、
 シデ、マキ、コイヤマキ、ナラ、クヌギ、モミ、セーデル、カシワ、
 エノキ、クルミ、キササゲ、ユヅリハ、チーリップ木、アスナロ、
 楓、柳、等

稻、麥、黍、粟の如き作物は適宜栽培すべし田舎の兒童に
 對して極めて普通にして興味を喚起するに足らざるも
 のも都會の兒童に對しては全く新奇にして非常なる興
 味を與ふるもの尠なからず實に都會の兒童は米の如何
 なる植物に産するか、柿は如何なる樹に結ぶかだも知ら

ざる兒童尠なからず故に這般の事情に通ぜんとせば先
 づ以て兒童を研究するの必要あるなり此の研究を俟て
 甫めて其の地方適當の植物を選択することを得べし

ホツヂ氏か米國小學校の爲に園樹に就き述べたるも
 のを見るに曰く學校園として運動場の面積を濫りに蝨
 食せしむるは希望せざるところなり然れども運動場に
 ある樹木は單に裝飾物たるに止まらず運動場の必要條
 件たるなり其の樹種たるや教育的材料に充つるに適し
 且心目を爽快ならしめ啼鳥自ら來る底のものたらざる
 べからず如何なる樹種か右の目的に適するかは勿論土

地の肥瘠地方の情況面積の廣狹等によりて異ならざるべからず今此の目的に向つて選擇したる樹種を必要の順序に従つて列記せば左の如し但し土地の事情は良好なるものと見て面積狭ければ第一位の樹を植ゑ廣ければ廣きに從つて順次番號を追ひて採擇すべし

- 一、クハ或はカヂノキ類 Mulberry
- 二、野生リンゴ Asiatic wild apple
- 三、エノキの一種 Hack berry
- 四、鉛筆の木又は鉛筆ヒヤクシン Red cedar
- 五、クロザクラ Black cherry

- 六、栗の種類 One of the improved chestnut
- 七、カリアノキ (Carya) Hickory unt
- 八、クロクロミ (黒胡桃) Black wolunt
- 九、クルミの一種 Butter unt
- 十、カシハ (榎) An oak
- 十一、ストロブ松 (pinus strobus) White pine
- 十二、ヤマリンゴ Nature wild apple
- 十三、ササフラキ (薩沙富拉斯) Sassafras
- 十四、チュンゴリンツブノキ Tuliptree
- 十五、スズカケノキ (篠懸木) Sycamore

- 十六、サトールカヘデ(砂糖楓) Softmaple
 - 十七、カナダツガ(加奈太梅) Hemlock
 - 十八、カラマツ(落葉松) Larch
 - 十九、トールヒ(唐檜) A spruce
 - 二十、シラカンパ類(白樺) A group of white Birches
 - 二十一、ムラサキブナ(紫掬) Purple Beech
 - 二十二、ニセアカシア又はハリエンジュ A Locust
 - 二十三、ボダイジュ(菩提樹) Linden
 - 二十四、トネリコ(栲) An Ash
- 校門墻垣若くは校舎の適當の處に蔓葛類を纏絡する

は爽快の風致を添ふるものなり之れに適する植物は左の如し

- 蛇葡萄屬 (Ampelopsis) 葡萄科の屬名にして邦産の種類にてはノブドール(蛇葡萄)、ウドカツラ、カガミグサ(白蕨)等之に屬す
- 紫藤屬 (Wistarias) 薔科の屬名、邦産にてはフヂ(紫藤)、ナツフヂ等此の屬に入る
- 紫威科の屬 (Bignonias) 日本には此の屬に入るべきものなし、紫威又凌霄花和名ノウゼンカヅラと稱するもの此の科に屬す

木天蓼屬(Actinidias) 彌候桃科の屬名、邦産の種類にては
シラクチヅル、ミヤママタタビ、マタタビ(木天蓼)等

・ 此屬の植物なり

忍冬屬(Honeysuckles) 忍冬科ノ一屬にして一名ウッドバイ
ン(Woodbine)と云ふ邦産にては忍冬の種類之に屬
す

此等の圍繞によりて一段の生氣を附與することを得べ
し

附記 邦産の木通科(アツバアケビ)の植物の如き最も

此の目的に向つて適するものなるべし

第六節 園地の選擇

校庭を以て直に學校園に充つる場合には此の問題を
研究するの餘地なしと雖新に園地を購求するか或は借
入るゝときは豫め諸般の事情を考察せざるべからず何
れにしても校地に接續するか或は極めて近距離にある
を要す而して其の土壤は理想的に謂へば壤土、砂土、粘土
等の數種の土壤を有し畑と水地とを備へ畑は干燥克ち
の部分と稍濕氣克の部分とを並有するところなるべし
然れども此の如き土地は容易に得らるべきにあらず故

に肥瘠何れの土地を選ふべきかといふことを考ふるを以て十分とせざるべからず瘠土を選ぶときは栽培物美事に出來ざるを以て附近の作物に比して劣るを免れず誇負心に富める兒童をして失望せしめ學校園の仕事に對する趣味を滅殺するに至るべし

反之沃土を選ぶときは自然好結果を來たすべく之が爲兒童の心を衝動し喜びを與へ益奮發せしむるに至るべし此の故に成るべく沃土を選ぶことは必要なるべし例へば一定の勞力を加へて七の生産力を有する土地より七の生産物を擧ぐると十の生産力を有する土地より

十の生産物を收むるとは勞力に對する同等の効果ありたる譯なるも兒童の心は前者より後者を以て満足するものなり然れども一部分瘠地を設けて沃地と比較せしむるも亦可なるべし

第七節 器具及學校園手帳

園用器具は成るべく兒童の體力に相應し且つ衛生上支障なきものを與ふべし大人用の器具を與ふるときは過勞せしめ衛生上不可なるのみならず苦役に服せしむることにより兒童をして園事を厭はしむるに至るべし

從來不注意の家庭に於ては此の弊を見ること多し延て成るべく家事を助くることを避け遊逸に流れしむるに至る思はざるべからず器具の種類は普通の手鋏、鋤、草取り、鎌、移植用鋤、木槌、孤輪車、水桶、籠、箒、繩の類にて足るべし此等の器具は全部學校に於て備ふること能はずんば兒童をして使用の當日家庭より持參せしむるか或は有志家の寄附を待つか或は兒童が害蟲驅除等によりて得たる報酬を以て公同的に購入するも一方法なるべし

又兒童には簡單なる學校園手帳を備へしめ之に作業の要領並に日常の觀察したる事項を記入せしむるもの

とす一々手帳に記録することによりて思想を整理し觀察力を養成することを得べし記入の項は例へば自己の取扱ひたる種類の名稱、種子の大小形狀、播種時、發芽の時、日、生長の狀況、開花、結實時期等に關する事項並に天氣の晴曇等をも記入せしむべし此等の記入事項は豫め欄を設けて印刷し置くときは極めて便利にして兒童の記憶を時々喚起するが爲に徒に勞せしむるが如きことなかるべし

此の如く整理せる手帳は兒童の將來斯業に關する基礎的の知識を養ふことを得べく商業工業等の他の業務

に従事する兒童に對しては之が爲めに涵養せられたる觀察力と趣味と篤實勤勉の習慣とは將來正直にして氣品に富める紳商名工たるの因をなすものなり教師は時々兒童の手帳を檢閲して誤は之を正し記帳の方法等に關しても相當の注意を與ふるを要す開花の状態等を記入するには色鉛筆を以て寫生畫を畫かしむるは圖畫教授と相俟つて頗る興味あること、信ず

第八節 生産物の處分

稍廣き學校園を有し相當の生産物を得たるときは之

れを父兄若くは教師に於て購求すべく或は進んで市場に販賣するも不可なかるべし或は教師と兒童と共に卓を圍みて試食するも甚だ愉快なり花は或は賣却し或は教室を修飾し或は兒童に分配して家庭に持歸らしめ父兄と共に樂しましむるも頗る可ならずや或は病床にある學友の許に贈らしむるが如きは其の慰藉の効蓋し尠なからざるべし特に今回の如き振古未曾有の膺懲の師を起すや邦家の爲に身命を捧げし幾萬の英靈を地下に慰め銃劍傷の爲に苦吟せる療養中の將士を慰藉するには可憐なる兒童か丹心を凝らして培養したる一基の

鉢植を以てするに優れるものあるか、米國のミチアポリ
 スの一小學校に於ては市内の病院に兒童の作りたる草
 花を供給することを計畫せりと聞く

廣大なる學校園を有する學校の生産物は一部は生徒
 に頒ちて以て勞力の効果を知らしめ一部分は翌年の學
 校園の經費に充て種苗肥料等を購入するも可なり或は
 其の收入の中より借地料(借りたる場合)其他費用を差
 引き殘餘は筆墨紙の類を購求して生徒に與ふるか或は
 學校若くは他の慈善會等に寄附するも一方法なるべし
 英國の一學校に於ては左の方法を採れり曰く

「兒童は各自の擔任區の生産物を賣却したるときは其
 の代金を教師に渡し教師は之を受取りて各區別に設け
 たる帳簿欄内に記入し兒童にも亦各自の帳簿に記入せ
 しめ正當の配分を受けたることを確認せしむ乃ち賣上
 金は之を二分し一分は次期に用ふる種苗費に充て一分
 は兒童に配付するものとす其の額は各兒童の生産高に
 比例す斯くして兒童一年の平均配分高は六シリング
 なり」

右の如きを以て兒童の擔任區を定めたる學校園を有
 する學校に於ては學校手帳の一部に簡單なる簿記の部

分を備へ之に記帳せしむること可なるべし

第三章 學校園施行上の注意

學校園の目的を圓滿に達せしめんとせば學校と家庭との連絡を圖らざるべからず即ち父兄をして學校園の目的を豫め知悉せしむるを要す然らざれば時としては兒童に此の種の仕事を課するを以て快とせざる父兄あるべく或は兒童が園事に思はず時を費して平日より歸宅の遅るるを咎むることもあるべく或は園用器具を學校に携帯せしむるを拒むこともあるべし此等は何れも

障害たるを免れず兒童の學校に於て仕立たる苗の殘餘若くは殊更に教師の注意を以て兒童に持ち歸らしめたる苗木、種子等は父兄は喜んで兒童を助け共に家庭園の一部に栽培せしめ其の成果を見しむることに努むべし斯くするときには獨り兒童の獎勵となるのみならず父兄も之に依りて學校を介して新しき苗種の作物を得美花を眺むることを得べし學校に於ては春秋二季位に相當の時に於て生徒の栽培せし生産物の品評會を行ふことあるべし此の場合に於ては父母兄弟は勉めて出席して學校の實情と共に其品物を觀察し若し販賣するときには

相當の市價を以て購求して兒童の獎勵をなすべし
 學校園をして餘り多く科學的教授に利用せんとする
 ときは是れ亦窮屈の感を起さしめて却て目的を達し難
 かるべし乃ち學校園をして分科植物的見本園の如くせ
 しむるは本來の目的にあらざるなり生徒の好に従ひ多
 少自由に委せて兒童の考按と希望とを拘束せざるを要
 す唯著しく常規を逸し不條理の考按に對しては教師た
 るものは相談的に相當の忠言と指導とを與ふることは
 肝要なり

植物若くは作物の選擇に就ても夏期休業中若くは其

他の休業中に開花し結實して兒童は之を賞觀するこ
 とを得ず熟果は空しく他人の手に委して再び昇校の際
 には何等見るべきものなき有様にては兒童の趣味を奪
 ふこと大なるを以て休業期と栽培物との關係に就ては
 豫め注意を要す

施用する肥料に就ても相當の注意を要す兒童が取扱
 ふことを厭ふが如き肥料は強て使用せしめざるをよし
 とす大豆粕、油粕、堆肥、人造園藝肥料、骨粉、重過磷酸石灰、過
 磷酸石灰、硫酸アムモニア、チリ、硝石、カインソット、カーナ
 ライトの如き肥料は清潔にして且有効なるものなれば

學校園にて用ふるに適すべし肥料購入の費用無き場合は職員生徒の勞力にて堆肥を製造し使用するは頗る必要のことなり此の場合に萱料植物を混ずるときは極めて善良なる肥料を得べし村落小學校の生徒にして下肥の使用は嫌はざるものには努めて之を使用せしむべし學校園の目的を達するには専ら一定の箇所園事に従事せしむるのみを以て満足すべからず此の目的を補助する社會の出來事、周圍の事情若くは好機會の利用すべきもの等は皆之れを應用し活用せざるへからず時々山野に導きて天然の風光に接せしめ學校樹栽地若くは

紀念學林を設定したる場合に兒童に植樹せしむるが如き品評會若くは共進會、展覽會等の開かるゝ場合に引率して指導を與ふるが如き或は當該町村の稻苗代若くは其の他の作物の害蟲驅除に従事せしむるが如き等即ち之れなり只之が爲に著しく教授時間を減少し生徒の趣好に逆らひて甚しく強制的に勞せしむるが如きことは固より避くべきこととなす

第四章 海外に於ける學校園の状況

歐米に於ても學校園は古き歴史を有せざれども既に二十年若くは三十年の以前より實行し來れり佛蘭西は一八七一年に國民學校の學科課程の改正に依り農事及園藝の教育を之に課したるより學校園の設置を強制し一八八七年迄は學校園を附設せざる小學校の設置は之を認可せざる訓令を有したりき今日は實に二萬八千餘校の學校園を見るに至れり左に各國の状況を摘記せん

(主としてラインに依る)

奧太利は歐州に於て學校園に關する法令を布けるものの嚆矢にして就中ウンガルンに於ては此の施設最も盛にして其校數一八〇〇〇園の面積數千ヘクタールに達せり

瑞西は之が設備に留意してより二十年を経たるに過ぎざるも政府之が獎勵補助に盡力したる結果今や多數の模範學校園を有するに至れり

白耳義は佛國と等しく學校令によりて之が設置を命令し今日に於ては全國の小學校殆んど學校園を

缺くものなきに至れり
 英吉利は實地の方面に敏捷なる英國人のこととして
 少年教育の上にも手藝及園藝を重ずるは當然の事
 にして夫の専ら少年養成の任に當れる私立組合協
 會の如き商工業の外盛に耕種園藝に關する理論と
 實地とを教授せり
 瑞典に於ける之が設置は甚だ早く殆んど奧太利と
 前後して夙に盛に實行せられたるも近來漸く衰兆
 を呈せり蓋し此の國に於ては位置北偏して園藝に
 適せず主義の善惡に拘はらず遺憾ながら其の實行

困難なるが爲ならん而して手藝教育を以て之を補
 ひつゝあるに至れり
 獨乙に於ては學校園に關し特に規定を有せざれど
 も三十年來實行し來れる結果之に關する觀念は一
 般に普及し大都會には必ず一箇所以上の中央庭園
 を設けて多くの學校に植物を供給しつゝあり
 露西亞に於ては從來之が設備の稍盛なりし所は中
 央及南部露西亞に限られたりしが近年政府に於て
 大なる獎勵主義を採り國庫補助の制を設け學校園
 を附設せざる小學校は國庫補助を受くる資格を有

せざるものとなすに至れり

今や全歐を通じて北瑞典より南スウイスに至る主要部に八萬一千一九〇三年の調査の學校園を見るに至れり

加奈太に於ては近來殆んど極端なる獎勵主義を採り單に普通教育の上より見て其の必要を感ずるのみならず實業上よりも大に之が施設の急務を呻ぶに至れり曰く「加奈太の如き輸出品の大部分を農産物に仰ぐ國に於ては學校兒童が農業操作に關する一般の知識を領得することは頗る緊切のことに屬す而して今日加奈太の實

業家として成功せる人士を見るに多くは地方畝畝の間に養成せられ親しく農産に關する知識を會得したる者實に其の大部分を占むるの事實は大に稽考に價するものと信ず思ふに人をして圓滿に發達せしむること農業に如くはなく如何なる訓練法と雖も遙に之に及はざるべきこと多言を要せず農業者の子弟は四肢の使用に熟すると全時に頭腦をも能く活用し兼て精密なる觀察を事實の上に注ぐの習慣を得此の觀察力たる實に人生の始終を通じて必要缺くべからざるものなり云々斯くして千九百三年に學校園規程なるものを發布せり參考と

して掲ぐることを左の如とし

學校園規程（一千九〇三年十一月允准）

第一條 村落小學校に於ける趣味を助長し農業園藝の發達を圖らんか爲め文部大臣は學校管理者教員視學官の指導として必要な命令を發することを得

第二條 適當に設備せる學校園を設置する村落學校組合は特に設けたる學校園獎勵補助金の交付を受くる資格を取得すべし

第三條 學校園を有する村落學校組合は該園設置の初年に一百弗以下次年度よりは毎年十弗宛の補助金を交付せらるへし補助金の支出は立法部に於て求めたる特別資金を以て之に充つるものとす但し之れか支出を許す範圍に限るものとす

第四條 學校園増設の爲めに特別資金に不足を告るときは其の割

合を以て補助金を交附するものとす

第五條 學校園の面積は校地の外に一エークル(四反十八步許)を下るべからず其の位置は校地の接續地若くは校地附近なるを要す

第六條 學校管理者は耙、草掻繩、剪定刀、其他必要なる器具を備ふるを要す

第七條 實習場及種子耕具類の貯藏場に充つる爲め適當なる建物を設くるを要す

第八條 學校管理者又は教員に對し地方視學官は當該地方の情況に適する施設をなさしむることを注意し教育をして成るべく實用的ならしむることを努むへし

第九條 制規の條件を充したる學校は視學官の視察報告に依り補助金の交附を受くるものとす

合衆國に於ては學校園の施設は過去二十年に於て長

足の進歩をなし近時之が獎勵に益、努めつゝあり然れども其の獎勵の法たる歐羅巴に於けるが如く規定若くは命令を以てするにあらずして其の他の自由方法を以て各箇隨意の發達を促しつゝあり例へはミヅリ州の數都會特にカルセージ及ベザニーの如きは賞與を懸けて生徒に其の學校園生産物を定期市場に出品することを獎勵しミネアポリスの一學校の生徒は父母より不用品を貰受け生徒自ら古物商に販賣して五十弗を得之を校地の修飾に投じ男生は柵に添ひて土を堀起し女生は整地し栽植して忽ちにして校地に一生面を與へたり同市

内鐵道會社は其の學を賛し特に學校生徒の近隣の農事試験場を視察するの便利を與へたりマサチュセツ州ロクスブリ市のジョーデプトナム學校には一八九一年の春より學校園を設け今日に於ては已に數百種の作物花卉を培養し其の成績佳良なるを以て同州の園藝協會は學校園の最も整備し成績良好なるものに賞與を與ふるの例を開きプトナム學校は常に之が受賞者たるを得たり

マクレアン州ブルミントン市學事監督スチエーブルトン氏は學校園の熱心者にして同市小學校の荒地

を數年を費して花園に變更し更に四千の兒童に各種の
 種苗を配付し兒童をして家庭並に學校に於て之を培養
 せしめ其の成績を以て毎年秋季學校に展覽會を開會せ
 り此の如き事實枚舉に遑あらず此の如く箇人若くは團
 體に於て諸種の獎勵法を行ひ生徒も進んで此の事に從
 ひ着々成效の見るべきあり學校園若くは自然科(Nature
 Study)に關する著書雜誌等も頗る多く大學教授若くは教
 育大家の學校園に關して意見を發表したるもの尠なか
 らず

ニューヨーク州の學事監督チャールス、ス、アール、スキントン

ル氏は村落小學校の周圍の設備に關し説をなして曰く
 「數百萬の兒童は本州を通じて最も悪しき情態の下に且
 最も憐なる校舎と不完全なる設備の下に教育せられつ
 べしあり校地には塙塹なく特別の運動場なく生徒は往來
 又は丘岡の邊に農家の放牧せる家畜の伴に伍して遊ぶ
 の外なし若し吾々の兒童の生活情態をして優美に活動
 せしめ且つ美を愛せしめんとせば須く學校家庭共に此
 の目的に適合すべき周圍の設備を要す兒童は自己を圍
 繞せる外界の事情によりて感化せらるゝこと多く外圍
 の事情如何によりて或は善に或は惡に養成せらるるも

のなり余は實に學校生活時代の愉快なる當時を回想し得ざる人の爲に悲む校舎は歪曲し校庭は家畜や通行人の侵入に委しつゝあるが如き學校に學校生活を送りて奚ぞ後年當時の幸福なりし記憶を喚起するを得んやかかる不良の情態を改善することは豈教員若くは教育先覺者の任ならざらんや今や正に其の時なり教育者宜しく協力一致以て之が改善の目的を達することを努むべし生徒の父兄及保護者をして墻塼を繕ひ校庭を修めしめ生徒をして校地は自己に屬するものたることを感ぜしめ以て自發的活動を惹起せしむべし此の如くして始

めて吾は教室内にて教授せる事項を兒童の生活に適應せしむる爲に重要なる一階梯を進め得たるものなり」と此の言たる現下我國の小學校に取りても亦參考となすに足るべし

要するに學校園の施設は歐米の教育界を通じて普通教育の立脚的基礎として認められ一般に重要なる新思潮として歓迎せられ一面之が施設の獎勵に努むると同時に一面大に研究を重ねつつある問題なり

學 校 園 終

明治三十八年十一月二十八日印刷
明治三十八年十二月二十一日發行

學校園
定價金貳拾錢

不許複製

大賣捌所

全東京市神田區
全日本橋區
全京橋區

東京堂
林平次郎
東海堂

全全全
上田屋
北隆館
良明堂

著作者
發行兼印刷者
代表者
印刷所

農學士 針塚長太郎
國民教育社
東京市神田區表神保町一番地
右社長
多田房之輔
東京市神田區表神保町一番地
英舍
東京市京橋區西紺屋町廿六七番地

文學士 遠藤隆吉 校閱 國民教育社編
文學士 島田俊雄

版八十二第

公民讀本

全一冊
定價 金參拾錢
郵稅 金四錢
見本郵稅共金貳拾五錢

● 適切なる青年夜學讀本
● 最良なる補習學校用書

● 恰當なる小學校賞品
● 最新唯一の家庭讀本

▲ 本書一たび出づるや大に世上の歡迎を蒙り忽ちにして第三十版を重ねんとするに至れり

▲ 本書は已に再三再四訂正増補を加へ且懸賞法を設けて改善を施し著述家、師範學校長、附屬主事、文學士、法學士等知名教育家の指導校正を経たれば内容の整齊完備せることは蓋し其比なかるべし

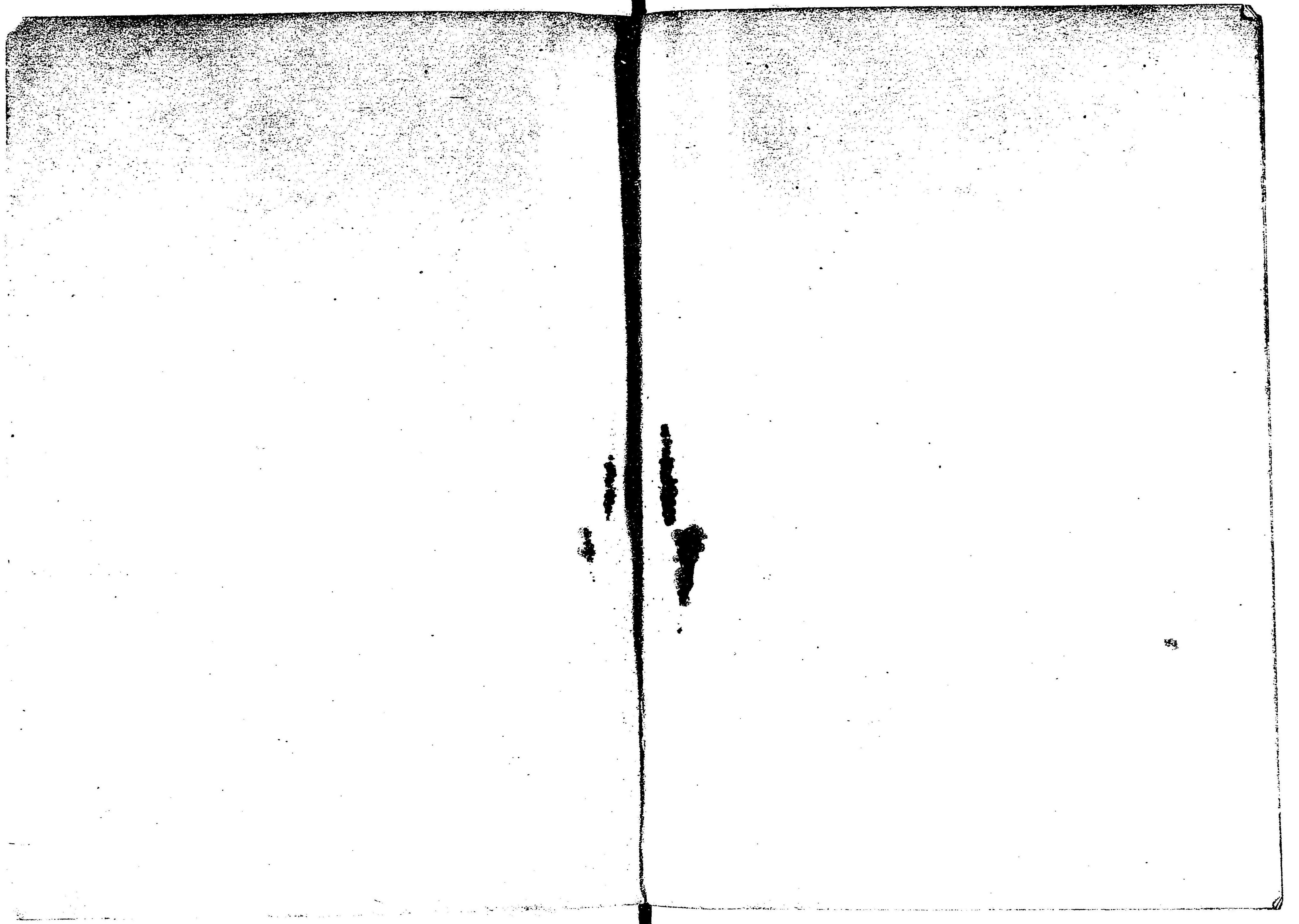
〔注意〕 前金にて拾冊以上御注文の方へは特に大割引すべし

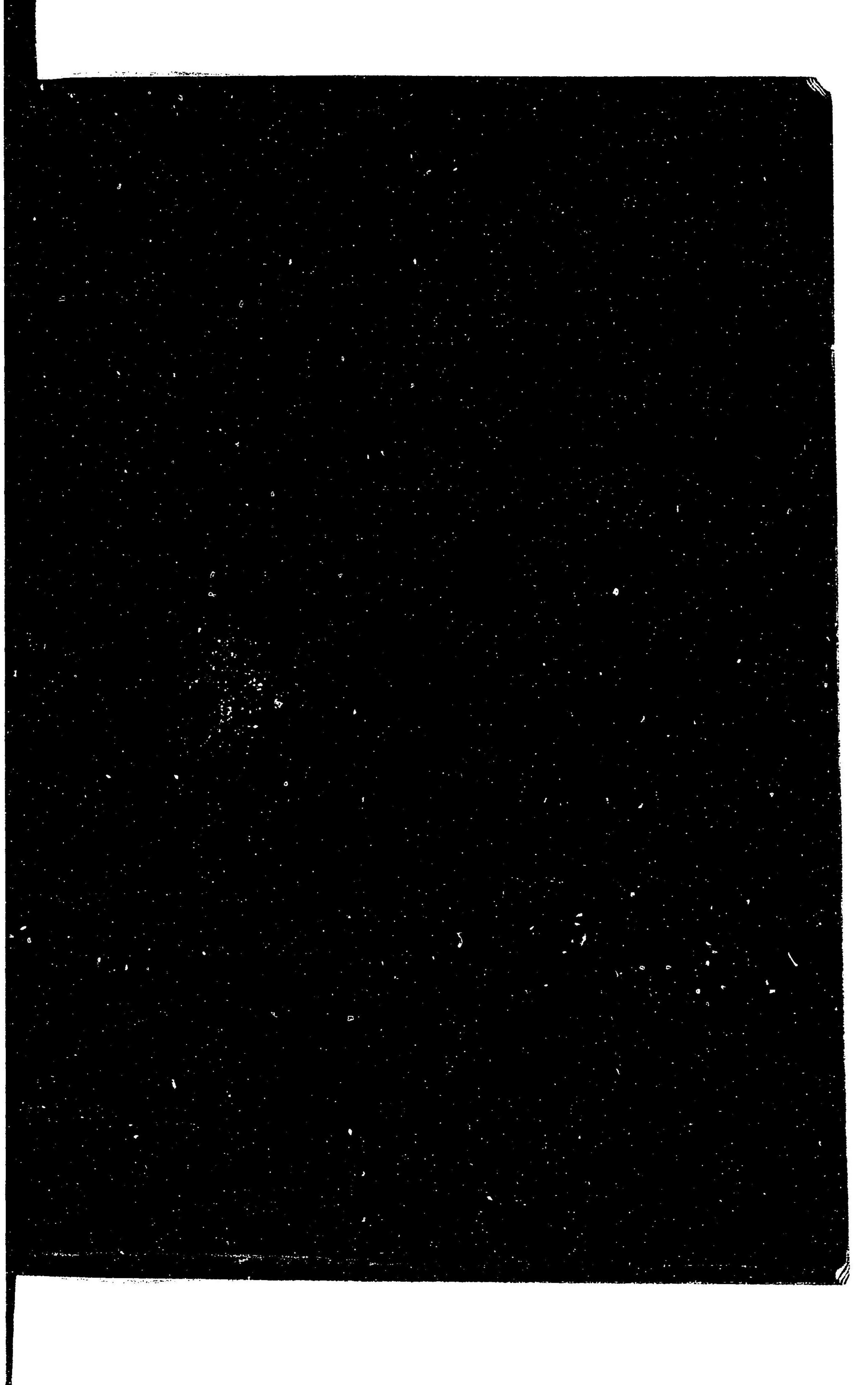
發行所

東京市神田區表神保町壹番地
「日本之小學教師」發行所

國民教育社

〔電話本局一三九四〕





特71

803

301386-001-4

特71-803

校園

針塚 長太郎 / 著

M38.12

BEA-0001